

風と樹の詩

うた

～いまをみつめて～

社会福祉法人砂町友愛園
砂町友愛園養護部 施設長 河上準一
〒198-0172 東京都青梅市沢井 1-506
☎0428-78-8388 fax0428-78-9104
<http://www.sunamachi-yuaien.or.jp/>
2020年 秋号

小規模グループケア地域型ホーム開設

秋も深まり北の地方では初雪の音が聞かれる時季となり、園庭の周りの木々も少し寒そうに落葉してきていますが、皆様はこの秋号の園だよりで、小規模グループケア地域型ホームの開設をご報告させていただきます。

土地購入及び設計や建設等を担当していただいた各社の皆様、建設委員会として参加していただいた各委員の皆様の多大なるご協力の結果、令和2年7月1日より小規模グループケア地域型ホームとして開設することが出来ました。ガーデニングや食育が出来る広い敷地と、木の香りが漂うゆとりあるスペースの素敵な園舎となりましたが、子どもたちと職員が更に心豊かに生活できる居住空間となるものと思います。改めて、開設に至るまでの道のりで多大なるご協力ご支援いただきました皆様に、心より感謝を申し上げます。

施設長 河上 準一



竣工式

6月末の引っ越しから早いもので4ヶ月が過ぎましたが、季節も夏から秋へと移り変わり子どもたちの服も半袖から長袖に衣替えの時期を迎えています。子どもたちは引っ越しした当初は広いホームに戸惑いも見られましたが、今は元気に過ごし庭の一角に植えた大根の収穫を楽しみにしていたり、モグラの穴を見て「モグラはどこだあ～」と一生懸命に掘っていたりする子どもの姿も見られます。

新ホームの最大の魅力は居室の完全個室化です。現在、児童養護施設における居室面積の最低基準は1人およそ3畳であるところ、6畳ものゆったりとした居室を実現しました。それにより子どもたちのプライベートが確保され、今までは2人部屋で脱いだら脱ぎっぱなし、ゴミはゴミ箱から外れて捨ててあった子が、1人部屋になってからは物の散らかしがなくなり綺麗に片付けられるようになりました。何でも他人任せだった子が一人で考えて行動出来るようになりました。まだまだ社会性や協調性に関しては日々支援が必要ではありますが、ゆったりとした生活空間が確保されることで子どもの心にもゆとりが生まれ日々落ち着いた生活が出来るようになってきて、以前に比べると見違えるような成長をしている事に嬉しく感じます。また子どもたち同士のトラブルや職員とのトラブルも以前に比べると大分減りました。その要因として多くの戸建ては2階建てですが、当ホームは平屋の造りになっています。ワンフロアに集約されているため子どもとの距離が必然的に近くなり、何気ない日常会話や声掛けがし易くなったことでトラブルにも介入しやすくなったのではないのでしょうか。

また、ある職員から「対面式のキッチンになった事で、子どもたちの表情や仕草が読み取りやすくなり会話も増えて良かったよ」「今までは外で遊ぶにしても周り近所を気にしちゃうからどうしても声掛けが増えてしまったけど、今は気にしないで子どもたちも思い切り遊べるから良いね」と言っていました。長年に渡り担当職員の手の届かない所にそっと手を差し伸べて子どもたちの身の回りのケアや栄養バランスを考えての食事の提供をしてくださる職員からこのような言葉をいただけ、グループホームを新設して良かったと改めて実感することが出来ました。

副主任（建設委員会委員） 宇野 祐介



新ホームリビング



新ホーム居室

たくさんの寄附をいただきました

(株)たかくら新産業様

日本コカ・コーラ(株)様

阿木様

森の中のお肉レストランアースガーデン様

キーン・ジャパン(有)様

お客さんから寄附を募って、お弁当を届けてくれました。また、これまでに何度もお店に招待をいただいています。とてもおいしかったです！

新型コロナウイルスが流行する中にもかかわらず、マスクやマスクの中敷き、消毒液・アルコール等手に入りにくい物をいただきました。おかげさまでウイルスを防ぐ事ができ、現時点でコロナウイルスの感染者はおりません。この他にもたくさんの方に衛生用品の寄附をいただいております。

今井様

久山様

松井様

中村様

益屋様

テンデイズゲームズ様

Doing様

僕は初めて、ウクレレをもらって、ギターかと思いました。最初はきっと、全然ひけないと思ったけど、頑張って練習したり職員に教えてもらったりして、得意になりました。今はスラスラ〜と弾けます！！今練習しているのは、プリテンダーと紅蓮華だけ、練習なしで弾けた曲はキラキラ星です。キラキラ星は耳で音を聞き取って、覚えました。一人で最初から最後までやりました！他の曲も練習しています、たくさんの曲を弾けるようになります。 小4男児 Y

コロナウイルスで大変な中 ありがとうございました

みらいの森

NPO みらいの森様からのご招待で夏にアクティビティーを楽しみました。

今年コロナ禍で夏のイベントが中止になる中、感染予防対策を取りながらみらいの森の日帰りプログラムに参加させていただきました。1日目はハイキングや川遊び、2日目は河原で材料を探してクラフト作り、3日目はチームの皆と力を合わせて様々なゲームをして楽しみました。

3日間とも暑い中でしたが参加児は目を輝かせ、スタッフの皆さんと交流しながら目一杯身体を動かして楽しむことが出来ました。子ども達にとって夏休みの一番の思い出になった様です。 支援員 大沼 詩子



職員研修

登録講師派遣事業研修は、事業所に対する育成支援事業として利用できる、東京都の委託事業です。「職場で、みんなで、無料で、まなぶ！」というテーマを掲げています。事業所は、200科目以上の項目から希望の研修内容と講師を選択し、応募します。申し込みが受理されると、登録している講師が直接、事業所に向いて研修を実施します。砂町友愛園は、一昨年度からこの事業を利用し始め、3年目になります。今回、コロナ禍ということで、会場を2つに分け、ZOOMを活用しての研修となりました。それぞれの会場で換気や消毒など感染症対策を十分に行い、無事に受講することができました。今回のテーマは「ビジネスマナー」です。直接処遇職員から「自分のビジネスマナーが合っているのか分からない、確かめる場所もない」「一般企業は新任研修で学ぶところが多いが、児童養護施設はなかなか機会がなかった」という意見が多数聞かれたため、数多くの児童養護施設でビジネスマナー研修を行ってきた、キャリアコンサルタントの永久理恵先生にお越しいただきました。 支援員 稲田 明季

研修を受け学んだ事

10月13日に講師の永久氏によるビジネスマナー研修がありました。児童養護施設の職員がビジネスマナーを学ぶ重要性として、公私のメリハリを付け、施設や業界を代表しているという意識を持つという点に今までの自分の姿を振り返って考える良い機会となりました。児童養護施設について詳しく知らない人も子どもの周りにはいます。様々な周囲の人と良い関係を築くことで、結果的に子どもたちの理解者を増やすという支援をしているのだと学びました。



また、正しいマナーを身に付ける事で、日々子どもと関わる中でも、身近な大人としての手本を見せられる機会になると感じた為、今後より意識してビジネスマナーを強化していきたいと思います。GHで一人勤務の為、電話対応や来客対応など手探りの中、今回の研修でマナーの基礎を学べたことで、少し自分に自信が付いた気がします。NHK(にっこりはっきりきっちり)を意識して業務に取り組んでいきたいと思っています。 支援員 廣瀬 友美

新任職員紹介



8月より調理員として入職しました山下はるみと申します。おいしい食事を作るように頑張りたいと思います。子どもたちとともに自身も成長できるように努力をしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

7月に調理で入職いたしました木寄隆章と申します。まだ色々調理のこと衛生面の事勉強しながら安全でおいしい料理を提供していきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

嘱託医の変更のお知らせ

20年以上に長きに渡り嘱託医として診療をしていただいております馬場医院の馬場 誠先生、ありがとうございました。今年の9月より現嘱託医として大河原森本医院 森本 崇先生に診療をしていただくこととなりました。よろしくお願いいたします。

今年7月よりグループホーム名が新しく変更になりました！



男の子ホーム

女の子ホーム

砂町 → けやき

司 → しらゆり

北砂 → あおぎり

桂 → すずらん



～令和2年

クリスマス祝会中止のお知らせ～

毎年開催していたクリスマス祝会ですが、今年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し、苦渋の決断ではありますが中止とさせていただきます。年に一度のクリスマスイベントを誰もが楽しみにしていた所での決定となり、誠に残念ですがご理解をお願いいたします。緊急事態宣言が解除された中でも、感染対策の為、制限のある生活に依然変化はありません。しかし、子どもたちに少しでも多くの笑顔届けられるよう、施設として何ができるのかを模索し、最善を尽くしている最中です。いつ交流の場を再開できるのか、先行きが不透明な中ではありますが、終息を願いながら感染対策に努めていきたいと思っております。



募集しています！

○保育士・指導員職員

可愛らしい子どもの成長を肌で感じる事ができる仕事です。

資格要件は保育士または児童指導員任用資格(詳しくは当法人ホームページをご覧ください)を取得している方です。子どもと関わる仕事に興味がある方のご連絡お待ちしております。

○フレンドホーム

家庭で生活する事ができない子どもを、夏・冬休み、土・日曜日、祝日等、学校がお休みの期間に、ご都合の良い日数お預かりいただける方を募集しています。

おおむね3歳から12歳の入所児が対象です。

○ボランティア

子どもに勉強を教えてください、一緒に遊んでくださる方、行事のお手伝いをしてくださる方を募集しています。ご自身の特技を子どもたちに教えてください方もお待ちしております。

保育士を目指す実習生と子どもたちの歩み

私はお姉さんと遊んだ時が一番癒してした。

入所したばかりの時、グループホームの小学生が私一人だったので寂しかったです。しかしその時にお姉さんが2週間実習に来ました。一緒にカードゲームをして遊ぶ事が多く、「次はお姉さんに勝つぞ!」と意気込み、勝負していました。私はお姉さんが大好きです。いつも、私の寂しさを吹き飛ばしてくれた、大切な人です。お別れをする時、必ず手紙を書きました。時に、寄り添ってくれたお姉さんを思い出し、今後の生活も精一杯頑張っていきたいです。

小5 女児 M



一緒にカブトムシを見つけました★



小1 男児 T 作品

たくさん遊んで、たくさん笑いました♪



小4 女児 R 作品

初日は緊張気味の実習生ですが、子どもたちの活気溢れた姿をみて澆刺としています!

